

- 平成20年7月1日～平成20年7月31日に岡山大学病院において血液培養検査を受けられた方へ
平成21年1月～平成22年4月の間に岡山大学病院において全血算（CBC）検査を受けられた方へ
平成20年8月～平成22年2月の間に岡山大学病院において新規R1従事者健診を受けられた職員の方へ -

「全身性炎症反応症候群（SIRS）における全自動血液学検査装置（ADVIA2120）パラメータの有用性検討」へご協力のお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 那須 保友
岡山大学病院
病院長 槇野 博史

研究責任者 岡山大学病院 医療技術部 検査部門
主任臨床検査技師 青江 伯規

1. 研究の概要（研究の背景、目的及び意義）

全身性炎症反応症候群（SIRS）は、種々の侵襲により全身性の炎症反応がひき起こされた状態で、体温、脈拍数、呼吸数、白血球数など、どの医療施設でも入手しえる4項目により診断され、感染症に起因するSIRSは敗血症と定義されています。敗血症の状態が長期化すれば、病態が重篤化する危険があり、早期診断および適切な治療が望まれます。本研究は、日常検査に用いる自動血球分析器より迅速に得られる指標のうち、SIRSに特徴的なものを明らかにすることを目的としており、敗血症の早期診断への寄与が期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成20年7月1日～平成20年7月31日に岡山大学病院において血液培養検査を受けられた方を研究対象とします。

平成21年1月～平成22年4月の間に岡山大学病院において全血算（CBC）検査を受けられた方を研究対象とします。

平成20年8月～平成22年2月の間に岡山大学病院検査部において新規R1従事者健康診断を受けられた職員の方を健常対照とします。

2) 研究期間

平成28年11月11日 ～ 平成31年3月31日

3) 研究方法

研究対象者の背景・情報などをもとに、敗血症症例において自動血球計数器より得られる客観的指標が病態を把握する為に有用かどうかを調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学パスワード等で制御されたコンピュータ内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。個々の研究の結果は以下の理由により開示致しません。ご了承ください。

【理由】

研究結果が直接診断や予後に影響するなどのエビデンスが、研究終了時点においても不透明なため。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成28年12月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

医療技術部 検査部門
aoe-m@cc.okayama-u.ac.jp

主任臨床検査技師

青江 伯規